

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、

楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

東北・北海道計量大会を開く

タクシー料金の事前確定運賃と地区ブロック連合としての連携について提案

10月3日、岩手県盛岡市

2019年度東北・北海道計量大会、第68次東北六県北海道計量協会連合会総会は、10月3日(木)、ホテルメトロポリタン盛岡で開催された。

大会は、13時30分に開成(30)年度物改者の名前を上げながら出席者全員で黙とうをした。



小野寺修会長

つづいて東北北海道計量協会連合会会長あいさつを小野寺修会長(岩手県)が述べた。



第68次東北六県北海道計量協会連合会総会のようす

た。

来賓祝辞は、阿部一貴経済産業省産業技術環境局計量行政室長、岩手県知事あいさつ(戸館弘幸県商工労働観光部長代読)、盛岡市長あいさつ(山本英朝市民部次長代読)、日本計量振興協会会長あいさつ(河住春樹同会専務理事代読)の各氏からあいさつがあり、ほか司会から来賓の紹介がおこなわれた。

つづいて大会宣言を池田秀和専務理事(岩手県)が発し、全会一致で宣言を採択した。

第68次東北六県北海道計量協会連合会総会を開いた。

前年度開催地の秋田県計量協会の前田健一専務理事から報告がされた。

第68次東北六県北海道計量協会連合会総会の提案議題は次のとおり。

■議題1：タクシー料金の事前確定運賃について(佐藤忠幸福島県計量協会事務局局長提案)



【要旨】タクシー料金は現在までメーターにより算出してきたが、平成31年4月26日付で、国土交通省自動車局旅客課から「タクシー事前確定運賃の本格運用ルール策定」の発表がなされた。

①当該サービスを実施するための認可申請の取扱



TANITA デジタルスケール TL-280
見やすいバックライト付大型表示
¥33,000(税抜)

いが今年7月1日から申請受け付けが開始され、今年10月1日から事前確定運賃実施の認可がこなわれ、タクシーの運賃を事前に確定して利用できることとなるが、今までのタクシーメーターによる実走距離による料金

算出とは違っており、問題はないか。

②この場合、料金算出についてタクシーメーターの関与はどうかとなるのか、その関連性が疑問となるが問題はないか。

③メーターが関与しないとなれば、タクシーメーターは特定計量器として不認となると思うが計量法上の取扱いはどうか。これらについて、計量行政室にお伺いしたい。



【要旨】現在、当協会は指定検定機関としての申請を目指し鋭意努力をしているところですが、審査しただけでは先行き不確実なところがある状況です。今後、(一社)九州計

今週の主な記事

- ① 東北・北海道計量大会を開く
- ② 現場の計測管理座談会(2)
- ③ 特集とくぎょうの計量No.269
- ④ 2019年全国計量記念日行事(1)
- ⑤ 11月1日に計量記念日全国大会、同大会の特別講演、計量のひろばNo.62
- ⑥ 初の指定検定機関がスタート、今年初の計量記念日ボス「ガチャピン・ムック」
- ⑦ 社説「人口が減り高齢化が進む国はどのようにするか」
- ⑧ 第148次製造業格大試験を実施
- ⑨ 10面
- ⑩ 10面
- ⑪ 10面
- ⑫ 10面

量士会のようにいわゆる連合として纏まって取り組むお考えがあるのか、これから指定検定機関として立ち上げを検討されている道県の意見をお伺いします。

■議題3：連合会総会次期開催地について(岩手県提案)

【要旨】東北六県北海道計量協会連合会則第5条により、次期総会を福島県において開催することについて提案するものである。

総会終了後は、休憩をはさんで記念講演会を開いた。今回は久保川ハートUP自然再生研究所の千川げんぼう所長による「さとやま民主主義と樹木葬」がおこなわれた。18時からは、歓迎レセプションと交流会を開いた。

戸館弘幸岩手県商工労働観光部長が歓迎のあいさつを述べたあと、及川隆計計測技術センター理事の首頭で乾杯した。

3260・3261号を合併号とし、10月20日付で発行します。

全紙面10月のIDとPW
ID: 5139
PW: tfmbt8ad

SHIMADZU

Excellence in Science

上皿天びん

UniBloc Performance Balances
UPシリーズ

計量作業の生産性改善 反応時間が約1/9に短縮

1 はかりとり作業性向上
微量計量(最小表示値の10倍相当)の表示反応時間を約1秒に短縮

2 優れた耐久性
耐久性に優れたUni Blocセンサの採用により故障によるダウンタイムを低減
耐久試験100万回クリア(計量法試験基準の10倍)

3 作業性を高める除電器
イオナイザSTABLO-AP(オプション)で静電気による影響を排除し
手間なく信頼性の高い計量を実現

STABLO-AP



UPシリーズ24モデル:最小読取り0.1g~0.001g

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

UPシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/up_video.htm

